

夏まるかじりツアー②

8月7日(土) ~ 8月9日(火)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	野外炊飯	身辺整理
2日目	野外炊飯・グループタイム	プール遊び	キャンドルファイア
3日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目: おはようございます！今日から二泊三日のキャンプが始まります。行きのバス車内では、グループ対抗のレクリエーションを行い、大いに盛り上がりました。ポイントに応じて、その後のプログラムにて特典があるため、みんな張り切って取り組まれ、すっかり打ち解けておられました。施設に到着すると小雨が降り出したので、急いで施設内へ移動します。昼食を済ませた後は、オリエンテーションを行い、三日間過ごす施設でのルールを確認しました。今晚の夕食は、【野外炊飯】でカレーを作ります。役割ごとに分けられると、みんな気合十分で、早速調理に取り掛かります。時折雨が降ったため、特に火おこしは苦戦される様子が見られましたが、最後まで諦めずに火付けに取り組まれ、どのグループもカレーを完成させることが出来ました。自分達で初めて協力して作ったカレーの味は格別で、お腹いっぱいになるまでおかわりされていました。その後は、お風呂で汗を流して、この日は天候が不安定だったためナイトハイクを中止し、明日に備えて早めに就寝しました。



二日目: 昨夜十分に休息を取ることが出来たため、起床時間に部屋へ挨拶に行くと、すぐに身支度に取り掛かっておられる姿が多く見られました。朝から雨模様ですが、元気いっぱいに野外炊飯場に向かい、【朝食づくり】を行います。キャンプではおなじみの“パックドッグ”を作り、出来立ての温かいうちに頬張りました。皆さん気に入られたようで、おかわりの分もあっという間になりました。また、日中は川遊びの予定でしたが、これも天候の影響で今回は残念ながら実施する事が出来ませんでした。そのため、午前はグループで自由に過ごす時間を取り、午後からは施設近くのプールへ行きました。昼食を済ませ、水遊びの用意をしたら、前半と後半にグループを分けてマイクロバスで移動します。プールの水温はとても冷たく、皆さん歓声を上げながら、プール遊びを楽しまれました。時間いっぱい遊んだ後は、施設に戻り、入浴と夕食を済ませ、夜はキャンドルファイアが待っています。心待ちにされていた方も多く、リーダー全員からの出し物を全力で楽しまれ、大いに盛り上がりました。曽爾の夜に76名の大きな声が響き渡っていました。終了後は、余韻に浸りながらぐっすり眠られました。



三日目： おはようございます！ついに最終日の朝です。身支度を整え終えたら、まずは荷物整理と部屋の清掃から始めました。各部屋の清掃点検を受け、食堂にて朝食をいただいた後は、グループで手分けをして、トイレや階段といった宿泊棟の共有部分を隅々まで綺麗にしました。清掃を終え、清々しい気持ちで次のプログラムの【焼き板工作】へ移ろうとした矢先、雷雨に見舞われてしまい少しの間室内で待機をしました。雨の止み間を見て、板を焼き、すずを落とす工程までを外で行い、絵付けは室内に戻って行いました。絵付けでは、三日間の出来事が思い出され、各グループ会話が盛り上がり、にぎやかな雰囲気でした。最後は、昼食を済ませ、退所式を行いました。三日間お世話になった施設へ感謝し、全員で集合写真を撮影してからバスに乗り込みました。帰りのバスの車内では、三日間の疲れからかぐっすり休まれている様子でした。尼崎駅で全体解散式を行い、同じグループで過ごしたリーダーやメンバーと別れを惜しむ姿が見られました。この三日間天候に恵まれないことが多かったですが、解散式後は皆さん晴れやかな笑顔で帰路に就いておられました。



<キャンプ総括>

この度は、「夏まるかじりツアー」にご参加いただき誠に有難うございました。今年も60名を超える方々にご参加いただき、とてもにぎやかなキャンプとなりました。その中には、「昨年も参加して、また今年も来た～」と仰る方もおられました。大変嬉しい限りです。「夏まるかじりツアー」は、当社が行っている他キャンプと比べると、【特別】なプログラムはありません。野外炊飯、川遊び、キャンプファイアといった、いわゆる『定番』のプログラムばかりです。しかし、シンプルなキャンプだからこそ奥が深く、ここでしか出来ない経験があると思っています。また来年もご参加いただき、キャンプの楽しさや魅力を感じていただけるよう、惜しまず努力をして参ります。

(生田 千恵)